

2018年 論文

1. Kim R, Kawai A, Wakisaka M, Funaoka Y, Nishida Y, Yasuda N, Arihiro K. Outcomes of outpatient breast cancer surgery at a private breast clinic. *Breast J.* 14. doi: 10.1111/tbj.13012. [Epub ahead of print], 2018.
2. Itsuki H, Serikawa M, Sasaki T, Ishii Y, Tsushima K, Furukawa Y, Murakami Y, Arihiro K, Chayama K. Indication and Usefulness of Bile Juice Cytology for Diagnosis of Gallbladder Cancer. *Gastroenterology Research and Practice* Volume 2018, Article ID 5410349, 6 pages <https://doi.org/10.1155/2018/5410349>.
3. 野中 恵、上野弘貴、田坂沙季、金谷雄平、青木志郎、山崎文之、細見直永、有廣光司、栗栖 薫、丸山博文. 脳幹に特異な造影効果をもとめ、当初脳幹部腫瘍が疑われた1例. *広島医学* 71(5): 455-460, 2018.
4. Fuji T, Nakamura Y, Fukumoto W, Kajiwara K, Chosa K, Tani C, Matsubara Y, Terada H, Honda Y, Arihiro K, Iida M, Baba Y, Awai K. Clinical Indication for Computed Tomography During Hepatic Arteriography (CTHA) in Addition to Dynamic CT Studies to Identify Hypervascularity of Hepatocellular Carcinoma. *Cardiovasc Intervent Radiol.* 41(4):618-627, 2018.
5. 壺井章克, 岡 志郎, 田中信治, 大谷一郎, 國原 紗代子, 有廣光司, 茶山一彰. 腸閉塞で発症した腹腔内索状物による全周性空腸潰瘍の1例. *消化器内視鏡* 60(10): 2290-2296, 2018.
6. 田村尚子、谷口真紀、下村麻衣子、唐川修平、古田太輔、久保忠彦、城間紀之、有廣光司、小林正夫. 強力な化学療法が奏効した多発肺転移を伴うAYA世代滑膜肉腫例. *広島医学* 71(9): 647-652, 2018.
7. 織田麻琴、森 馨一、城間紀之、有廣光司. 副腎オンコサイトーマの1例. *広島医学* 71(11): 723-724, 2018.
8. 清水智美 後腹膜に発生した傍神経節腫の1例. *広島県臨床細胞学会誌* 39: 31-36, 2018.

2018年 発表

1. 清水智美 後腹膜に発生した傍神経節腫の1例 第43回広島県臨床細胞学会総会 2018年 広島
2. 内畠由加里 胆管癌のmicroRNA解析の試み, 第107回日本病理学会 2018年 札幌
3. 織田麻琴 膵癌診断におけるmicroRNA検索の有用性, 第107回日本病理学会 2018年 札幌
4. 城間紀之 子宮内膜の液状化細胞診標本を用いたmicroRNA解析の試み, 第107回日本病理学会 2018年 札幌
5. 尾田三世 乳腺腫瘍のmicroRNA解析の試み, 第107回日本病理学会 2018年 札幌

6. 石田克成 日臨技病理検査標準化事業 免疫組織化学染色に関する調査, 第 107 回日本病理学会 2018 年 札幌
7. 清水智美 後腹膜に発生した傍神経節腫の 1 例 第 43 回広島県臨床細胞学会総会 2018 年 広島
8. 村上拓也 肺に発生した血管周囲類上皮細胞腫瘍の 1 例 第 33 回日本臨床細胞学会中国四国連合会総会ならびに学術集会 2018 年 高知
9. 金子佳恵 内膜擦過細胞における FISH 法を用いた Kras と 12 番染色体の遺伝子異常評価の有用性 第 33 回日本臨床細胞学会中国四国連合会総会ならびに学術集会 2018 年 高知
10. 城間紀之 Fluorescence in situ hybridisation(FISH)法を用いた膵臓癌診断への応用 第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会 2018 年 横浜
11. 清水智美 胃癌の擦過細胞診検体を用いた HER2 遺伝子増幅検査の検討 第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会 2018 年 横浜
12. 丸橋由加里 肺癌の組織標本と胸水セルブロック標本での PD-L1 発現の比較 第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会 2018 年 横浜
13. 石田真悠 膵病変の液状細胞診標本を用いた miR-143 の検討 第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会 2018 年 横浜
14. 金子佳恵 乳癌における FISH 法を用いた HER2 シグナルの評価-特に DCIS に着目して-,第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会 2018 年 横浜
15. 石田克成, 日臨技病理検査標準化事業 免疫組織化学染色に関する調査 アンケート調査報告『施設環境について』第 67 回日本医学検査学会 2018 年 浜松
16. 石田克成, 日臨技病理検査標準化事業 免疫組織化学染色に関する調査 アンケート調査報告『免疫組織化学染色について』第 67 回日本医学検査学会 2018 年 浜松
17. 石田克成, 日臨技精度管理の成果と課題 アンケート調査から見えてきた課題-IHC の標準化に向けて- 第 67 回日本医学検査学会 2018 年 浜松